

# Nikon U

## ニコン 映像カンパニー開発統括部

### ■概説■

ニコンU(写真1)は一眼レフカメラに初めて触れる人でも簡単に操作ができ、だれでも美しい写真が撮れることをコンセプトとし「自動化」「小型・軽量」「簡単操作」を推進、実現したAF一眼レフカメラである。加えて本機は、多彩な便利機能の充実、および金属マ



写真1 ボディ外観

ウントの採用など、「多機能・高品質・発展性」にも重点をおき、初心者からステップアップを目指す方までの幅広いユーザーニーズに適合するカメラを実現した。

名称の「U」は「遊び」「優しさ」「友だち」「みんな誘って」「with You」などのいろいろな「U」をイメージした親しみを込めたネーミングで、本機は普及機新系列の第1弾である。2001年2月28日に国内発表し、同年3月24日に国内発売した。

### ■主な特徴■

本機的主要特徴を以下に示す。

#### ①小型・軽量

空洞式ペンタダハミラーの採用、内部機構、電子回路/実装のダウンサイジングにより、ニコンUは当社同クラス機種F60と比べ、容積比2割強の小型化と、3割強もの軽量化を実現し、ニコン35mm AF一眼レフカメラのなかで最小・最軽量を達成した。

また、大型の外部表示パネルとコマンドダイヤルの新積層構造設計によって巻き上げ側上面が低く抑えら

### スเปック

- 型式 ■ 35mmフォーカルブレんシャッター式カメラ
- 使用フィルム ■ 135サイズ
- 画面サイズ ■ 24×36mm
- レンズマウント ■ ニコンFマウント
- シャッター ■ 電子制御上下走行式フォーカルブレんシャッター、30～1/2000秒、タイム、Xシンクロ1/90秒以下
- ファインダー ■ アイレベル式ペンタミラー使用、視度調節機構内蔵(−1.5～+0.8m<sup>-1</sup>)、アイポイント17mm(−1m<sup>-1</sup>)、B型クリアマツスクリーンV(フォーカスフレーム付き)、視野率約89%、倍率0.68～0.60倍(50mm、∞、−1.5～+0.8m<sup>-1</sup>)。ファインダー内表示：ピント表示、フォーカスエリア、シャッター速度、絞り、露出インジケーター、露出補正インジケーター、露出補正マーク、レディライト、スピードライト推奨マーク、フル発光マーク、フォーカスエリア5点、中央部重点測光エリア
- 焦点調節 ■ TTL位相差検出方式、マルチCAM900オートフォーカスモジュール、AF補助光(約0.5～3m)、EV-1～+19(ISO100)、オートAFサーボ、シングルAFサーボ、コンティニュアスAFサーボ、マニュアル、フォーカスエリア5点、ダイナミックAFモード、シングルエリアモード
- 露出機構 ■ TTL開放測光方式、3D-6分割マルチパターン測光(Gタイプブレん、Dタイプブレん装着時)、6分割マルチパターン測光(GタイプおよびDタイプ以外のAFブレんでF3AF用、IXニコッルのぞく)/Ai-Prブレん装着時、中央部重点測光(露出モードM時自動切り替え)、3D-6分割マルチパターン測光：EV1～20、中央部重点測光：EV1～20、イメージプログラム(オート、ポートレート、風景、クローズアップ、スポーツ連写、夜景)、マルチプログラムAE、絞り

- 優先AE、シャッター速度優先AE、マニュアル露出、露出補正：±2EV(1/2EVステップ)、オートブラケティング：撮影コマ数3コマ、補正ステップ-2～+2段(0.5、1、1.5、2段ステップ)の間で可能。フィルム感度DX自動セット：ISO25～5000(DX以外はISO100にセット)、多重露出可能
- 内蔵スロバ ■ イメージプログラム時オートポップアップ方式による自動発光、PASM時押しボタンによる手動ポップアップ方式、GN12(ISO100・m)、フィルム連動範囲：ISO25～800
- シンクロモード ■ 先駆シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤目軽減スローシンクロ、発光禁止
- 表示パネル ■ シャッター速度、絞り、露出補正マーク、露出補正値、ブラケティングマーク、多重露出マーク、シンクロモード表示、フォーカスエリア、バッテリーチェック、フィルムカウンター、セルフタイマーマーク、リモコンマーク
- リモコン ■ 赤外光利用、瞬時リリースと2秒後リリース、カメラ正面約5m以内
- セルフタイマー ■ 電子式、10秒、途中解除可能
- フィルム給送 ■ イージーローディング、自動空送り機構付き、自動巻き上げ、連続巻き上げ可能、約2.5コマ/秒、自動巻き戻し、途中巻き戻し可能
- デット機構 ■ 年月日・日時分・月日年・日月年・写し込みなしの5モード
- 電源 ■ 3Vリチウム電池(CR2)2本、バッテリーバックMB-17により早3形電池4本使用可能
- 大きさ・重さ ■ 139.5(W)×92.5(H)×68(D)mm、400g
- 価格 ■ ¥61,000
- 発売 ■ 2001年3月24日
- 問合せ ■ ニコン TEL(03)3775-2266

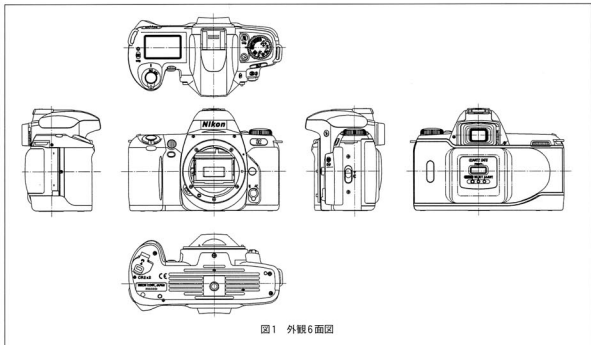


図1 外觀6面図

れた小型フォームは大きな特徴となっている。

## ②高性能オートフォーカス

F80に搭載され定評のある高速・高精度測距素子「マルチCAM900オートフォーカスモジュール」を採用。この5点測距オートフォーカスモジュールは撮影画面を幅広くとらえることができ、より確実なピント合わせを可能にしている。

さらに、被写体が静止しているか動いているかを判断しフォーカスモードを自動的に切り替える「オートAFサーボ」を搭載。

## ③見やすい外部表示パネルと視度調節機構

大型液晶表示パネルは上位機種F80に優る表示面積を誇り、とくにフィルムカウンター、シャッター速度、および絞り値などの数字は大きく、撮影情報がひと目で視認できる(図2)。

また、ファインダーには視度調節機構を装備。ハイポイント仕様との組み合わせによってクリアな視界を確保している。

さらに本機は操作ボタン類に印刷している文字・記号を大きめに設定しているなど、シルバー世代までも含む幅広いユーザー層に配慮した設計がなされている。

## ④高速連写

スポーツ連写モードを選択すると2.5コマ/秒の高速連写が可能で、運動会等のシーンにて威力を発揮する。また、2.5コマ/秒の高速巻き上げはリリース時の像消失時間を短くするメリットがあり、上/中級機に匹敵する撮影フィーリングを実感できる。

## ⑤内蔵スピードライト

スピードライトは、先幕シンクロ、赤目軽減、スローシンクロ、および後幕シンクロの各種モード設定が可能で多彩なスピードライト撮影ができる。なかでもスローシンクロモードでは夕景や夜景を美しく描写した撮影、後幕シンクロモードでは動きのある光跡などをより自然に表現させる撮影で効果を発揮する。

逆光・低輝度シーンで作動するオートポップアップ機構部には、緩衝材を各所に設け作動静音化を実現している。

## ⑥充実した基本性能

以下の機能/構成を搭載し基本性能の充実を図っている。

- ・被写体までの距離情報を加味し、きめ細かな露出制御を行うニコン独自の3D-6分割マルチパターン測光。
- ・新開発クリアマットスクリーンVの採用により視野が明るいファインダーを実現。
- ・AF-Sニッコール、AF VRニッコールレンズ対応や、



図2 外部表示パネル

外付けスピードライトとのシリアル通信対応などの高いシステム性。

・対衝撃性、耐久性に優れた高品質の金属製ボディマウント採用。

## ⑦多彩な便利機能

創作表現の可能性を広げる電子プレビュー、多重露出、オートブラケティングを装備。

記念撮影に最適な「2秒リモコンモード」、クローズアップや夜景撮影に便利な「瞬時リモコンモード」が選べるリモコンを標準装備。

## ■外観デザイン■

本機は家庭の「パパ」「ママ」を中心とする広い層のユーザーに気軽に使ってもらえるよう「親しみやすさと高級感の両立」をテーマとしてデザインした。

一眼レフカメラのむずかしいイメージをやわらげるために、操作部材を少なくし文字表示等を大きくした。また、明るい色使い、柔らかな稜線ラインで親しみやすさを表現している。

一方、ユーザーの「一眼レフ」に対しての期待にこたえるために、質感の向上・ホールディング性能の向上を追求し一眼レフらしさを保った。さらにグリップ内側の赤色ラバー、ボディの革シボカバーなどF5、F100以降続けているデザインテイストを継承し、ニコンの一眼レフカメラシリーズとしての統一感を与えらるとともに高級感を表現している。

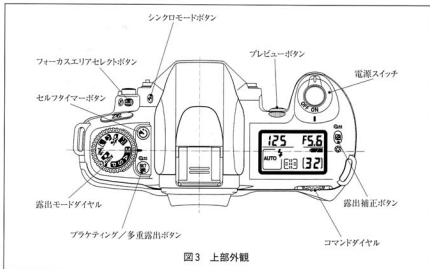


図3 上部外観

操作部はボディ中央部のペンタ部をはさみ、グリップ側には露出補正ボタンとコマンドダイヤル、巻き戻し側には露出モードダイヤルとブラケティング/多重露出ボタン、そして前面側にはプレビューボタンとフォーカスエリアセレクトボタン等を配置した(図3)。この露出モードダイヤルは、絵表示による5種類のイメージプログラムを含む10種類の露出モードを簡単操作で設定できる。各ボタンは最適位置にレイアウトされており、カメラを構えた状態でも操作ボタンとコマンドダイヤルとの操作が容易に行える。

## ■主要構造概要■

本機のボディ構成はフィルム送達機構などが組み込まれたボディ本体と、ファインダー光学系、ミラー駆動機構、絞り制御機構、AF駆動機構、およびシャッターなどが組み込まれたサブボディとに大別される(図4、図5)。

フィルム送達機構はフィルムのパーフォーレションをフォトリフレクターで光学検出する制御方式を採用し、送達モーターによってフィルムの巻き上げ、および巻き戻しを行う。ミラー駆動、および絞り制御はシーケンスモーターを用い、正回転にてミラーアップ/絞り制御、逆回転にてミラーダウン/絞り復帰/シャッターチャージを行う。装着レンズのAF駆動はボディマウントの裏下部に配置されたAFモーターの回転で行われる。

上述のミラー駆動機構、絞り制御機構、およびAF駆動機構には、ハス歯ギヤや振動吸収構造を採用し静音化が図られているとともに、各機構部を集約構造とすることによって小型化を実現している。

また、小型化達成のために本機ではコマンドダイ

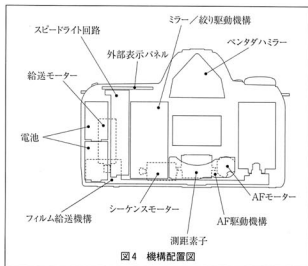


図4 機構配置図